

## れいんぼう川崎の自助具をリメイク

入所施設れいんぼう川崎で使われていた手作りの自助具を、3Dプリンタで再製作する取り組みも同時に進めました。

### インターホンの ボタン押し

ボタンの上に大きなレバーを設置し、押しやすくするための自助具です。



設置場所が屋外のため、劣化も進んでいます

手作り自助具



元の機構などは大きく変更することなく製作しました

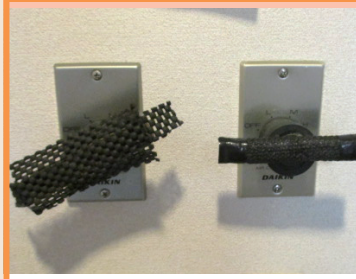
3Dプリンタで再製作



笑顔で使って頂きました！

### エアコンの ダイヤル操作

ダイヤルを握らずに回せるように、アームを取りつけます。



作業療法でよく使われる素材で作られています



色々な方向から力を加えられるように、アームを一本増やしました



## 専門職の感想



濱口 陽介氏  
作業療法士  
川崎市社会福祉事業団  
川崎市北部  
リハビリテーションセンター  
百合丘障害者センター在宅支援室

私達はこれまでこのような取組をする時には、作製するための機材やスペースが必要なこと、ハンドメイドでの作製のため再現性が乏しくなること、自助具の作製に関する情報が少ないという課題を抱えていました。しかし、この取組は、省スペース、再現性、作製したデータの共有化の部分で革新的であり、現場の人間として非常に価値を感じています。



長澤 充城子氏  
理学療法士  
川崎市社会福祉事業団  
川崎市れいんぼう川崎  
在宅支援室リハビリテーション係

「大変が当たり前だったのに、ダイヤルに自助具をつけたら簡単に回せた。」その瞬間にAさんは最高の笑顔になりました。このワークショップで素敵な場面に立ち会うことができました。使い続けたい自助具が安定して提供される為に3Dプリンタの持つ再現性と量産性に期待します。

## 自助具ワークショップについて



本プロジェクトでは、福祉機器利用者と支援者（作業療法士、理学療法士、ソーシャルワーカーなど）が集うワークショップを通じ、生活の中の課題や個別のニーズについて共有しました。さらに、メールでの図面のやり取りや、造形物の試用などを通じて、実際に3Dプリンタを使った自助具のデザインプロセスを体験しました。

川崎市 経済労働局 次世代産業推進室  
TEL 044-200-2513 FAX 044-200-3920

共催 国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
福祉機器開発部 福祉機器開発室

協力 川崎市れいんぼう川崎(川崎市社会福祉事業団)  
川崎市北部リハビリテーションセンター  
株式会社おかのて  
ワークショップ運営 株式会社イグアス 株式会社シーワテック  
設計 株式会社イグアス 株式会社シーワテック  
発行 2018年3月20日

# 自助具 ワークショップ

## 3Dプリンタで思いを形に！

川崎市 × 国立障害者リハビリテーションセンター研究所